

令和7年度 特定非営利活動に係る事業報告書（第18期）

千葉県松戸市新松戸四丁目 257 番地の1
ニューホームズ マンション 1 階

特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 Jワールド

令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

令和7年度（第18期） 目次

ページ 2～5	事業の成果	令和7年度
ページ 6	事業の実施に関する事項	令和7年度
ページ 7	各事業の計画に対する実績	令和7年度
ページ 8	各事業の計画 (令和8年4月1日～令和9年3月31日)	令和8年度
ページ 9	正会員・賛助会員の推移	令和7年度

1. 事業の成果

前松戸市教育長 伊藤純一氏講演会を実施した。ボランティア証明書授与式を実施した。

ユース事業

月曜日から金曜日の16時～19時にユーススペースを開催した。また、新しい場所に移転、場所も広くなり、雰囲気も明るい場所での実施となった。

十分な周知やアピールができず、継続的に利用する中高生が少ない状況であった。活動を広く知っていただくため、ユーススペースのInstagramを開設し、フォロワー数は現在74名。フラッと立ち寄る高校生や社会人の利用も見られ、気軽に立ち寄れる場としての役割も感じられた。

今年度は利用者は大学生男子が多く、その関わりの中から個人の学びや成長につながるケースも見られた。また、かき氷やパフェ作り、クリスマスイベントなど、季節に合わせた企画を実施し、利用者同士の交流や居場所づくりに努めた。今後の課題として、居場所として利用が必要とされる中高生に、どのように活動を届け、関係を築いていくかが挙げられる。

ゲットユアドリーム事業(松戸市委託事業)

今年度も6回のゲットユアドリームで、計56名(小金南中学校:11名、牧野原中学校:6名、金ヶ作中学校:6名、第六中学校:12名、古ヶ崎中学校:10名、河原塚中学校:11名)延べ人数(重複あり)の講師の方々にお話しいただき、中学生たちに様々な価値観や職業観に触れ将来について考える場を提供できた。ゲットユアドリーム後、自主的に居場所ユーススペースに来られた生徒さんがいて、講師の話に感銘を受け、人のために今できる何かをしたいとの事でボランティアにニーズがあり感謝だった。・松戸市委託授業が令和7年度で終了、今後は自主事業として、講師の皆さんのお話やグループタイムでの意見交換・ふれあいを通して、生徒さん達が、自分も含め一人一人が高価で尊い大切な存在であること、失敗してもあきらめない、折れない自己肯定感を受け取っていけるよう学校に引き続きアプローチしていきたい。

松戸市子どもの学習支援事業(松戸市委託事業)

令和7年度は、火・木コースのみの開講であった。月・水・金も居場所を開設し、いつでも来られる子どもの居場所づくりを目指した。

<学習面>

今年度は夏にかけて小学生の利用者が増えたが、部活動や習い事で忙しく、途中で利用を取りやめる方もいた。継続的に利用しているお子さんはスタッフとの信頼関係も築かれて、安心できる居場所になっているのではないかと思う。保護者からも、中学生になっても継続したいという要望があがり、実際に皆さん継続されている。

中学生は中3生が最終的に10名となり、人間関係や受験のプレッシャーなどあり精神面でのかわりも必要となった。スタッフが気にかけて親身になって対応することで、子どもの方から相談してくることもあり、学習面だけではないサポートを通して、子どもたちに安心と信頼感を持ってもらえるように努めた。受験生も多かったため、勉強するときは静かに真面目に取り組んでいる子どもたちが多かった。保護者の方も受験に対しては関心が高く、苦手を克服したいという要望もあった。要望に沿って、受験対策として面接練習を企画したり、過去問に集中したり工夫した。ほぼ全員志望校に合格、進学している。1,2年生も休むことなく来ている子どもが多く、学習習慣がついてきているように思う。休み時間にはおやつを準備し、スタッフも近くにいる大人も共に年齢を超えておしゃべりしたりゲームしたりしており、日頃体験できない異年齢の交流がなされている。

利用申し込みの時の面談で、できないことを恥ずかしいと思わずに、できないことはできるようになるチャンスなのでどんどん聞いて下さいということを伝えると、子どもも保護者も安心する様子があり、その子どもの現実に寄り添い、成長を共に喜ぶことができることを、スタッフも励みとしている。比較競争社会の中で自己肯定感を高めるために、一歩でも前進したことを褒め励ますことの重要性を感じている。

<居場所づくり>

毎回休憩時間前に一人ひとりが安心して過ごすことのできる場所にといいことで、ルールを必ず読み上げ、守ってもらえるように心掛けている。

イベントも開催し、今年度は4月に令和6年度利用者の卒業・進級おめでとうパーティー、夏にかき氷パーティー、秋に秋食材で作るパフェパーティー、冬にクリスマス会を行った。3月には今年度の卒業・進級おめでとうパーティーを行い、保護者にもご案内をした。季節ごとのイベントで飲食を共にすることで、楽しく和気藹々とした関係が築かれている。

卒業生が、高校生、大学生、社会人になっても立ち寄って近況報告してくれて、卒業しても来なくなる場所となっていること、関わり続けられることが喜びとなっている。家でも学校でもない、第三の居場所として、自分のことを話し聞いてもらう場所が必要とされていると感じる。子どもたちから、卒業してからも行ってよいか？という質問を受けるとき、安心して過ごせる場所として受け止めてくれていると感じ、励みとなっている。

いつ来ても歓迎されることを通して、一人ひとりの存在が大切なのだということを受け取り、子どもたちがありのままの自分を大切にできる大人に成長していくことをサポートできればと思っている。

J ボランティア事業

ボランティアを希望する学生に【あなたは高価で尊い】【あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい】の精神をもとに、ボランティア活動を始める前に自己肯定感の学びを研修してボランティア活動に入ってもらった。学習支援や居場所支援、食堂のお手伝いのボランティアに入ることによって J ワールドの理念と一致して活動に参加してくれた。学生たちの持っている力が発揮されている。

松戸市地域子ども・子育て支援事業 おやこ DE 広場旭町(松戸市委託事業)

〈おやこ DE 広場旭町〉

昨年度も、ママパパ学級三日目、赤ちゃん教室を開催。ママパパ学級には、かつてママパパ学級三日目に参加された方が先輩ママパパとして参加されるなど、広場として大変うれしいことがあった。旭町中学生と乳幼児親子のふれあい体験授業は市内各広場の協力を得て、市内各地域から参加親子が与えられた。

旭町は数少ない駐車場がある広場ということで、車で来られる利用者さんが多く、イベント時に駐車場の利用について、協力を呼び掛けたところ、シルバー人材センター、シニア交流センターの受付の方など、協力を得られるようになった。イベントのボランティアだけでなく、このように表面には表れないが、世代を超えた協力があるのもシニア交流センターという場所ならではのと言える。利用者数は 0 歳児 1 歳児が多いので、おもちゃや絵本なども少しづつ入れ替えている。パパがお子さんを連れて広場を利用することが増え、トイレトレーニング中のお子さんを連れて利用される方もおられることから、高齢者支援課に相談の上、男性トイレにも補助便座を設置した。

〈子育てコーディネーター〉

相談は妊娠 8 ヶ月時の面談も含め、発達相談や、保育園入園についての相談があった。昨年度から始まった相談機関としての登録は一月に 2 件程度で、利用期間が短く信頼関係がない中での登録の難しさを感じている。馬橋西高齢者いきいき安心センターと、ダブルケアをしている家庭に届くように引き続き連携している。積極的に様々な援助を活用されている方がいる一方、あまり情報を得ておらず、また間違った情報で必要な援助を受けていない方もいる状況もあり、日ごろの何気ない会話の中で一人一人に合った支援ができるように努めた。

子育て支援事業

<ママカフェ>

0歳児から未就学児までのお子さんをもつお母さんや、子育てが一段落し、ほっと一息する時として参加して下さる方もいて、幅広い年齢のお子さんを持つ親御さんが居場所として毎月参加して下さっている。

お茶の時間を共にすることで、不安や悩みを安心して話せる場所となっており、継続して来られる方も増えている。今年度はコースター作り、ピクニック、お菓子の家づくりなど、企画から参加されている方も一緒に準備をして下さり、役割があることで、利用定着にもつながっている。

<リトミック>

毎月5～8組の親子が参加、父親の育児休暇の取り方が変化し、父親の参加もあった。コロナ前のように保育園や幼稚園に入るまで毎月のようにリトミックに通う親子が増え、入園前には手作りの卒業証書とプレゼントを贈ることができ、頑張っってやり続ける力が大切だということを親御さんにも伝えることができた。

昨年に引き続き、おやこ DE 広場旭町とも連携し、シルバー人材センターからもボランティアに来ていただいた。。

スマイルプログラム(松戸市委託事業)

火曜日週一回 ユースペースを利用した活動を継続した。

普及啓蒙事業

活動報告として「Jタイムズ」を7月に発行し、賛助会員、支援関連機関、学校関係などに発送した。

2. 事業の実施に関する事項 第18期

単位：千円

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の平均人数	受益対象者の範囲および人数	支出額
① 松戸市子どもの学習支援事業 ゲットユアドリーム事業	様々な職業についている人生の先輩から話を聞き、将来について考えるワークショップの開催。	年 6校	松戸市立中学校	30人	中学生 1,035人	876
② 松戸市子どもの学習支援事業	小中学生に勉強を教えるだけでなく、居場所としての機能を持ち、学力向上を通し、自立する力を養う。	中学生 100日 小学生 100日	新松戸リバイバル チャーチ内	10人	延べ 1,1062人	8,568
③ 松戸市地域子ども・子育て支援事業 おやこDE広場旭町	乳幼児・親子の集いの場所を提供する。	月 17回	松戸市 シニア交流 センター3F	3人	延べ 2500人	5,893
④ 松戸市地域子ども・子育て支援事業 子育てコーディネーター	おやDE広場開催時、子育ての相談、子育て支援サービスの紹介、子育て支援機関との連携。	月 17回	松戸市 シニア交流 センター内	1人	松戸市及び近隣の市民 延べ 140人	3,246
⑤ 子育て支援事業 ママカフェ	親子の居場所作り	月1回 金曜日	新松戸リバイバル チャーチ内	15人	松戸市及び近隣の市民 70人	79
⑥ 子育て支援事業 リトミック	乳幼児が心身共に健康になり、親とのスキンシップの時間を持つための企画・運営（リズム体操など）			8人	延べ 196人	
⑦ 共通 本会計						1,251

18期 令和7年度 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【計画】に対する【実績】

単位：千円

事業名	実施日		実施場所	従事者の平均人数		受益対象者の範囲及び人数		年間収入対象	収入の部(千円)		支出の部(千円)	
	計画	実績		計画	実績	計画	実績		実績	計画	実績	計画
①松戸市子どもの学習支援事業 ゲットユアドリーム事業	年6回	年6回	松戸市立中学校	30名	30名	中学生(1,000名)	中学生(1,135名)	運営業務委託収入	1,087	1,087	988	876
②松戸市子どもの学習支援事業	中学生90日 小学生90日	中学生100日 小学生100日	新松戸 リバイバル チャーチ内	10人	10人	延べ(1,400名)	延べ(1,062名)	運営業務委託収入	9,866	9,688	8,696	8,568
③松戸市地域子ども・子育て支援事業 おやこDE広場旭町	月17回	月17回	シニア交流 センター内	3人	3人	延べ(2,300名)	延べ(2,500名)	運営業務委託収入	6,191	6,200	5,842	5,893
④松戸市地域子ども・子育て支援事業 子育てコーディネーター	月17回	月17回		1人	1人	延べ(160名)	延べ(140名)	運営業務委託収入	3,389	3,389	3,197	3,246
⑤子育て支援事業 ママカフェ	月1回 金曜日	月1回 金曜日	新松戸 リバイバル チャーチ内	15人	15人	延べ：松戸市及び近隣の市民(50名)	延べ：松戸市及び近隣の市民(70名)	子育てセミナー参加費・託児費	150	93	70	79
⑥子育て支援事業 リトミック	月1回 不定期	月1回 金曜日		6人	8人	未就園児(200名)親含む	延べ(196名)	子育てセミナー参加費・託児費	80		50	
経常収支									20,763	20,457	18,843	18,662
会費・入会金収入									1,000	370		
補助金及び助成金収入・寄付金収入									700	97		
(共通)本会計									157	554	2,051	1,251
収支総合計									22,620	21,478	20,894	19,913
当期利益(税前)計画/実績											1,726	1,565

第19期 令和8年度（令和8年4月1日～令和9年3月31日） 【計画】

単位:千円

事業名	実施日	実施場所	従事者の平均人数	受益対象者の範囲及び人数	年間収入対象	収入の部	支出の部
①ゲットユアドリーム事業	年3回	松戸市立中学校	30名	中学生500名	なし	0	20
②松戸市子どもの学習支援事業	中学生100日 小学生100日	新松戸リハビリチャーター内	10人	延べ1,200名	運營業務委託収入	9,725	8,037
③松戸市地域子ども・子育て支援事業 おやこDE広場旭町	月17回	シニア交流センター内	3人	延べ2,500名	運營業務委託収入	6,514	6,146
④松戸市地域子ども・子育て支援事業 子育てコーディネーター	月17回	シニア交流センター内	1人	延べ140名	運營業務委託収入	3,580	3,377
⑤子育て支援事業 ママカフェ	月1回 金曜日	新松戸リハビリチャーター内	20人	延べ松戸市及び近隣の市民60名	参加費	120	70
⑥子育て支援事業 リトミック	月1回 金曜日	新松戸リハビリチャーター内	8人	未就園児100名 保護者含め200名	参加費	80	50
経常収支						20,019	17,700
会費・入会金収入						500	
補助金及び助成金収入・寄付金収入						350	
(共通) 本会計						200	2,657
収支総合計						21,069	20,357
当期利益							712

正会員・賛助会員数推移
平成20年度 ～ 令和7年度

		正会員	賛助会員	計
平成20年度	会員数	28	11	39
	会費	54,000	72,000	126,000
平成21年度	会員数	26	12	38
	会費	53,000	59,000	112,000
平成22年度	会員数	26	7	33
	会費	53,000	33,000	86,000
平成23年度	会員数	24	16	40
	会費	52,000	77,000	129,000
平成24年度	会員数	26	28	54
	会費	54,000	147,000	201,000
平成25年度	会員数	28	33	61
	会費	61,000	393,000	454,000
平成26年度	会員数	31	38	69
	会費	71,000	321,000	392,000
平成27年度	会員数	31	110	141
	会費	70,000	646,000	716,000
平成28年度	会員数	20	103	123
	会費	61,000	536,000	597,000
平成29年度	会員数	20	106	126
	会費	68,000	583,000	651,000
平成30年度	会員数	17	80	97
	会費	59,000	360,000	419,000
平成31年度	会員数	23	72	95
	会費	79,000	352,000	431,000
令和2年度	会員数	26	65	91
	会費	94,000	276,000	370,000
令和3年度	会員数	26	82	108
	会費	103,000	343,000	446,000
令和4年度	会員数	25	67	92
	会費	83,000	332,000	415,000
令和5年度	会員数	25	55	80
	会費	96,000	274,000	370,000
令和6年度	会員数	24	45	69
	会費	80,000	309,000	389,000
令和7年度	会員数	24	44	68
	会費	90,000	280,000	370,000